

に良い環境の場所があれば、発見は困難でないと思う。

なお、アカガシの新芽若葉には綿毛が多く、近似のカシ類とは容易に区別できる特色がある。本種の幼虫の食性も、この綿毛のために特異な習性がみられ、幼虫は綿毛をおしのけながら摂食し、綿毛は食痕の周囲に集められて残されている。

参 考 文 献

- 1 井上 寛他 1957 原色昆虫大図鑑, 北隆館
- 2 岡部正明・中村重久 1957 四国南郡の蝶, げんせい 6 (1/2) : 19~20
- 3 岡本 啓 1937 土佐及び四国中央山脈の *Zephyrus* 属について, 関西昆虫雑誌 4 (3) : 87~92
- 4 白水 隆 1955 蝶類雑記 (2), 新昆虫 8 (2) : 25~32
- 5 ———・原章 1960 原色日本蝶類幼虫大図鑑 I, 保育社
- 6 藤岡知夫 1959 対馬産キリシマミドリシジミについて, 蝶と蛾 10 (3) : 42~43
- 7 若林守男・林久男・田中蕃 1958 ヤクシマミドリシジミの生活史, 蝶と蛾 9 (3) : 38~39
- 8 横山光夫 1954 原色日本蝶類図鑑, 保育社

日本産ベニヒカゲ類及び Theclinae シジミチョウ類覚書

村 山 修 一¹⁾

Some new forms of *Erebia* and Theclinae from Japan

By SHŪ-ITI MURAYAMA

本稿を草するにあたり、貴重な材料を提供せられた吉阪道雄、西山保典、大蔵丈三郎、小田公良、井原久生、井上正亮等諸氏に厚く御礼申上げる。

Erebia niponica amarisana subsp. nov. ベニヒカゲ (新亜種) (Fig. 1, 2, 3)

Holotype, 1♂, 前翅長 20 mm. Allotopotype, 1♀, 22mm. Paratopotypes, 4♂♂, 3♀♀, (♂ 20-22mm, ♀ 21-24mm.) 山梨県甘利山, 24, VIII, 1963. 西山保典氏採集, 筆者保存。

木曾駒産の亜種 *sugitanii* SHIRÔZU に最も近似するが総じてさらに小形なものが多く、表面後翅の橙色帯は一層巾広く顕著となる傾向が強い。またここに検した♀はすべて裏面後翅白帯型である。甘利山 (1671m) は山梨県西境の鳳凰山 (2841m) より東方にのびる山塊の東端にあり、かような低い地点に *Erebia* が産することは興味深い。なお手許には南アルプス三伏産 (吉阪氏採集) の 2♂♂があり、これも後翅表面の橙色帯太く且小形 (前翅長 19mm) で恐らく南アルプスのベニヒカゲも本亜種に入るものと思われる。

Erebia niponica togakusiana subsp. nov. ベニヒカゲ (新亜種) (Fig. 4.)

Holotype, 1♂, 前翅長 23mm. Paratopotypes, 5♂♂, 23mm. 10-15, VIII, 1963. 長野県戸隠山 (1911m) 大蔵丈三郎氏採集, 筆者保存。

大形である点は立山産の亜種 *tateyamana* MURAYAMA, (Zeitschr. d. Wien. Ent. Ges. 48 : 102-103, 1963.) に近いが、総じて表面前翅の橙色紋少々面積狭く、後翅では橙色帯著しく退化して小点紋もしくは小短線となる、従って黒色眼状紋も頗る不明瞭となる。

Wagimo signatus signatus BUTLER, ab. *iwateanus* nov. ウラミスジシジミ新異常型 (Fig. 11 & 14)

Holotype, 1♂ 前翅長 15mm. 岩手県岩手郡滝沢村, 7, VII. 1963. 井上正亮氏蒐集, 筆者保存。

1) 大阪府茨木市新庄町744

今迄知られなかったウラミスジジミの珍しい異常型である。表面前翅紫色紋は第1室のほか、第2室基部に僅かに存するのみで他は黒色、後翅には全くあらわれない。裏面前翅には外縁に沿うて狭く橙黄色帯があるほかは基部まで暗灰色、中室端にのみ2条の併行した銀色の短線があるのみ、後翅も外縁は橙黄色紋となるが、その内側から基部まで暗灰色で中室端に1本の銀色短線、基部に銀色の長い1本の線が、中室の外側に不鮮明な銀色帯があるにすぎない。

ウラキンシジミの諸型

ウラキンシジミは地方により種々の個体変異を示すもので、それについてはすでに江崎博士が詳述されたところである (Zephyrus, 5 : 200-201, 1934)。次にそれらのうち岩手県及び北九州産に最も屢々あらわれる顕著な2型を遺伝的なものとみなし便宜命名しておくこととするが、これらは本種にみられる変異の両極端を示すものである。

Coreana stygiana BUTLER, f. *odai* nov. ウラキンシジミ (新型) (Fig. 5 & 6)

Holotype, 1♂, 前翅長16mm. 17, VII, 1955. Allotopotype, 1♀, 17mm. 10, VII, 1959. Paratopotypes, 16-18mm. 1♂3♀♀ (♂21, VII, 1955. ♀19, VII, 1954. ♀9, VIII, 1954. ♀10, VII, 1959.) 岩手県九戸郡安家, 小田公良氏採集, 筆者保存。

岩手県安家 (アツカ) 産のウラキンシジミには屢々裏面の外縁垂外縁の黒斑列が消失し、肛角の赤紋中の黒紋も微小化した個体があらわれる。この消失した黒紋のあとには♂では黄白紋となり♀では赤紋に変ずる。恐らく地方的な遺伝型であろう。♀には翅表前翅中央及び後翅肛角に赤紋が淡く現われた ab. *akio* に近いものもある。

Coreana stygiana BUTLER, f. *hikosana* nov. ウラキンシジミ (新型) (Fig. 7 & 8)

Holotype, 1♂, 前翅長16mm. 3, VII, 1959. Allotopotype, 1♀, 18mm. 17, VII, 1960. 福岡県彦山北岳, 井原久生氏採集, 筆者保存。

前記の型とは対照的に北九州彦山産のものには裏面前後翅外縁近くの2列の黒斑列が、内側のは一層黒色顕著となり、外側のは長形の顕著な白紋を伴った紋列となるものが甚だ多い。これも矢張り遺伝的と考えられる。また地色は岩手県のが黄白色であるのに対して著しく黒色味のかかった黄色を呈する。

Coreana stygiana BUTLER, f. *semiakio* nov. ウラキンシジミ (新異常型) (Fig. 9 & 12)

Holotype, 1♀, 前翅長 18mm 9, VII, 1959. 伯耆大山, 筆者採集並保存。

ab. *akio* と同傾向のものだが、後翅にのみ赤紋があらわれ而もそれが第2, 第3両室外縁近く傾る大型の矩形赤紋となったもので紋の輪廓も甚だはっきりしている。広義には ab. *akio* としてよく、ここでは便宜のため一応区別した。

なお写真に出した正常型の♀ (Fig. 10 & 13) は京都府南桑田郡東別院村湯谷附近で私の採集したものであるが同地方からは未記録のものである。

Lycaeides argus micrargus BUTLER, *chiyodaensis* の産地訂正

本誌前号 (Vol. XIV. pt. 2, p. 49) で記載したヒメシジミの上記異常型の産地は吉阪氏の御注意により次の如く訂正し、且採集者の芳名を逸したことをおわびします。

山梨県甲府市千代田湖 28, VIII, 1959, 米沢尚実氏採集

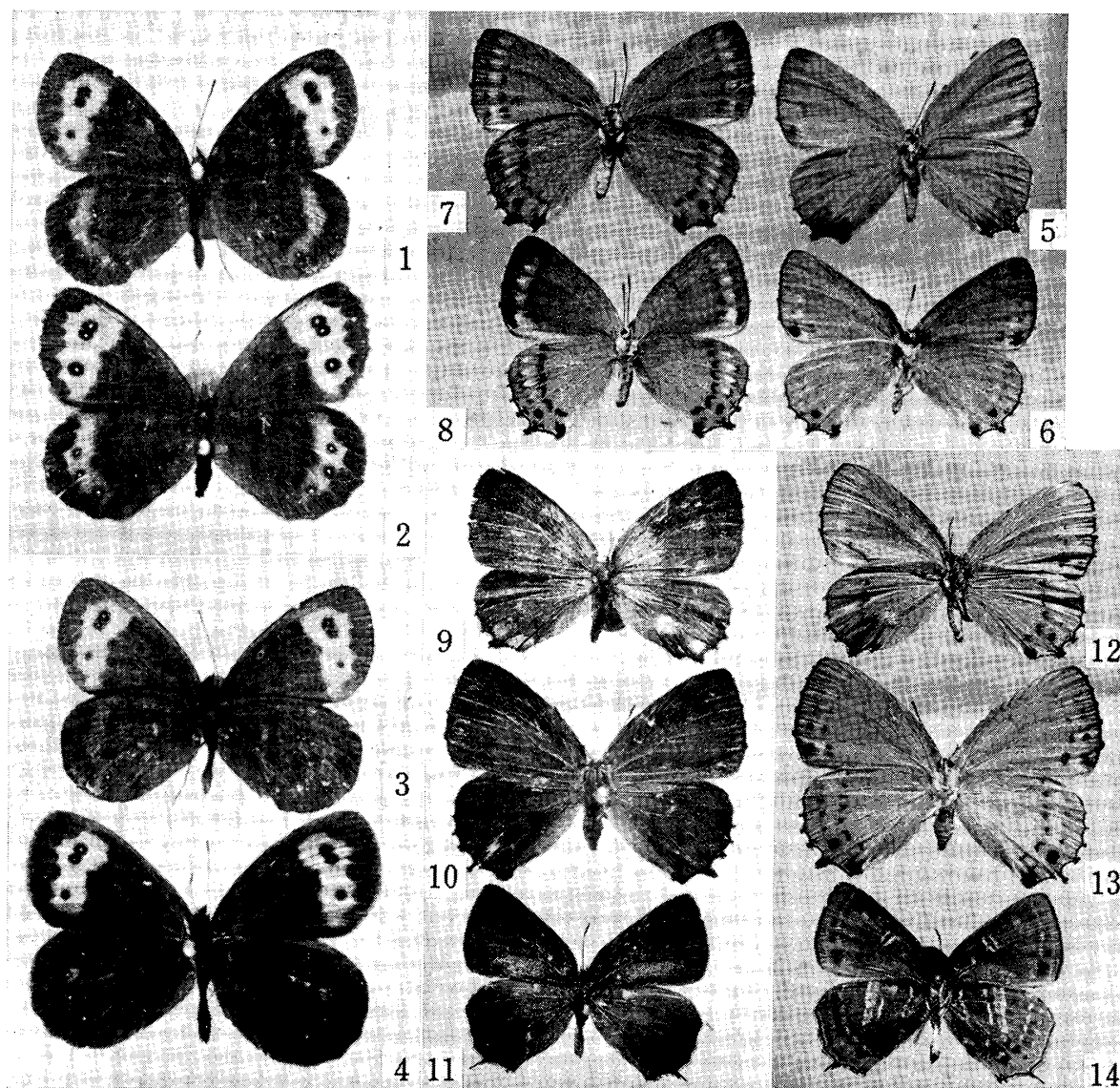
Résumé

Erebia niponica amarisana subsp. nov.

Extremely allied to subsp. *sugitanii* SHIRŌZU, but differs from it in having broader fulvous band of hindwing on upperside, and somewhat smaller size. This race occurs in Mt. Amarisana (1671m.) and the South Japan Alps mountains.

Erebia niponica togakusiana subsp. nov.

This large race is closely similar to the race *tateyamana* MURAYAMA, but distinguishes it in the



- Fig. 1 *Erebia niphonica amarisana* subsp. nov. ♂ Expanse of forewing, 20mm. Mt. Amaran.
 Fig. 2 Do. ♀ " 22mm. "
 Fig. 3 Do. Underside. of fig.1.
 Fig. 4 *Erebia niphonica togakusiana* subsp. nov. ♂ 23mm. Mt. Togakusyama.
 Fig. 5 *Coreana stygiana* BUTLER, f. *odai* nov. ♀ 17mm. Underside. Akka, Iwate.
 Fig. 6 Do. ♂ 16mm. " "
 Fig. 7 *Coreana stygiana* BUTLER, f. *hikosana* nov. ♀ 18mm. " Mt. Hikosan.
 Fig. 8 Do. ♂ 16mm. " "
 Fig. 9 *Coreana stygiana* BUTLER, ab. *semiakio* nov. ♀ 18mm. Mt. Daisen.
 Fig. 12 Do. Underside.
 Fig. 10 *Coreana stygiana* BUTLER. ♀ 19mm. Yutani, Kyoto.
 Fig. 13 Do. Underside.
 Fig. 11 *Wagimo signatus signatus* BUTLER, ab. *iwateanus* nov. ♂ 15mm. Takizawa, Iwate.
 Fig. 14 Do. Underside.

following points ; upperside, the fulvous red band of forewing is somewhat smaller narrower, the same of hindwing conspicuously degenerates to the small red spot or patch. This race occurs only in Mt. Togakusiyama (1911m.), Nagano prefecture.

Wagimo signatus signatus BUTLER, ab. *iwateanus* nov.

Upperside, purplish markings appear only in the space 1 and the base of the space 2. Underside, the middle and base area of both wings become darkish grey and only the marginal area is yellowish orange. There are two silver bars in discocellular and the obscure silver band outside of it. Known from the prefecture Iwate, northern Honshu.

Coreana stygiana BUTLER, f. *odai* nov.

Underside, the marginal as well as submarginal black spot lines disappear, being replaced to whitish yellow spot in male, red spot in female. The black spot in red marking at anal angle of hindwing, reduces to the slight patch. Ground colour golden yellow. The hereditary form appearing only in Akka district of the prefecture Iwate.

Coreana stygiana BUTLER, f. *hikosana* nov.

Underside, the marginal as well as submarginal black spot lines more distinct, inside of marginal black spot line, the whitish marking is parallel to it. Ground colour greyish yellow. The hereditary form appearing only in Mt. Hikosan (1200m.), northern Kyûshû.

Coreana stygiana BUTLER, *semiakio* nov.

Two remarkable reddish markings appear in marginal areas of the spaces 2 & 3 in hindwing of upperside. Collected in Mt. Daisen (1713m.), the prefecture Tottori. by the author.

Above-mentioned all types in author's collection.

日本鱗翅学会東南アジア蝶蛾調査隊

Lepidopterological Research Expedition to Southeast Asia of the Lepidopterological Society of Japan

台湾 (第1次), ヒマラヤ (第2次) と成果をあげた本会海外調査隊の第3陣は東南アジアをめざし, 今春マレー半島へ向いました. 即ち昭和39年2月23日東京出発, バンコックを経てマレーシアに入り, クアラルンプール, イポ, タイピン, クロ等の各地で採集調査を行い, 又マレーシア大学, マレーシア国立博物館等の施設を訪問, 3月22日全員無事帰国したのであります. 成果の詳細は今後の研究をまたねばなりません, チョウ成虫約250種, 約3000頭, 卵, 幼虫等61種を主として蛾, セミ, トンボ, 甲虫等多くの資料をもちかえることができました. 本隊に対し御支援下さった各位に感謝致します.

隊員は次の4会員であります.

静谷英夫 (隊長, 本会幹事), 秋葉 尙 (本会幹事),
坂神泰輔, 宮坂司郎

